

イワヒバリが生息するすべての山を明らかに！



バードリサーチ

高山帯の岩場で繁殖するイワヒバリは、どの山にいるのか？

高山の鳥の中でも、ライチョウに次いで分布が限られていると思われるイワヒバリ。しかし、調査地へのアクセスが大変なため、全国の分布状況は把握できていません。

やることその1. 目撃情報をもっと集める！

バードリサーチでは、2022年の夏から登山者の目撃情報を集めて、イワヒバリが生息する山の特定を進めています。2023年も引き続き情報収集を行います。



2022年の夏の3か月で71件の目撃情報が集まりました。



このほかに、予備調査として登山記録サイトの写真情報の調査も実施しています。

開けた岩場が大好き？

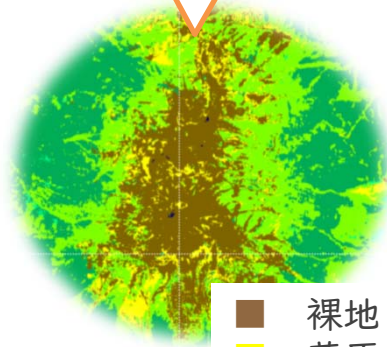
やることその2. いる山ってどんな山？

GIS

集まった目撃情報と植生データや衛星画像データを用いてイワヒバリが生息する山の特徴を抽出します。



特徴が一致する山で、イワヒバリの記録がない山をピックアップします。



■ 裸地
■ 草原
■ 森林

その3.

現地調査で生息の有無をチェック + 群れサイズを調査

この山の環境なら、イワヒバリいるはずなのに・・・
という山の現地調査をします。

適した環境がありそうで
予備調査で情報が得られていない山

たとえば、
那須岳
安達太良山
草津白根山

過去には
記録がある山も

東北や北関東の
独立峰で情報
不足の傾向

参加型調査で
実施します！

スポットセンサスで
試行 5地点で調査

この範囲で
7羽を確認

スポットではなく
ラインを採用



広い範囲を群れで移動するので、スポット
センサスだと、在不在の確認には向いてい
るけど、群れの個体数を把握しづらい。

現地調査の方法

ラインセンサスという名の登山。
イワヒバリの声や姿を確認したら
群れをしばらく追跡して、
個体数の記録をつけます。

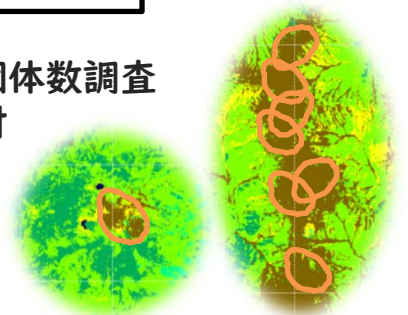
今年の成果目標

イワヒバリがいる山をすべて明らかにし、
リストを公開します。

翌年以降において

全国の個体数を推定していくために、
独立峰とは違い、群れが連続的に分布する
連峰での個体数調査の方法を検討します。

連峰での個体数調査
方法を検討



独立峰

連峰

Next Step!

イワヒバリは、果たして
全国に何羽いるのでしょうか？



Photo by Yuki Hoshino